



いでした。そして僕が一番びっくりしたのは世界中のあちこちから来た外国人の多さでした。その外国の人たちは一枚一枚の写真をとって見ていました。それだけ、原爆が恐ろしく、使ってはいけないものと感じられました。また、僕たちに広島の前爆について教えてくれた語り部の方の話では、その原爆について話すのも「つらい」と言っていました。僕が特に印象に残っているのは資料館にあったこの言葉でした。「建物を建てるのは時間がかかる、破壊は一瞬」という言葉でした。一つの爆弾によつて全てが粉々に散つたのでした。この過ちは二度と繰り返してはならない。ただ、